

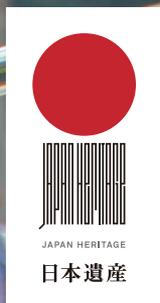
活 力 あ ふ れ 感 性 息 づ く 芸 術 文 化 の ま ち 尾 道

こ う ほ う

おのみち

No.1018
7月号

Onomichi City 平成28年(2016)



特集 日本遺産

“日本最大の海賊”の本拠地：芸子諸島
—よみがえる村上海賊
Murakami KAIZOKUの記憶—

グローバルな人材の育成を目指して 御調中学校で国際交流



6月13日(月)、御調中学校で台湾・新北市立秀峰高級中學からの留学生14人を迎え交流会が行われました。

全校生徒による歓迎セレモニーの後、書道や茶道、中国語学習などの文化交流や給食・授業体験を行いました。

一日の交流や体験を通して、お互いの理解を深めることができました。



台湾で「やまなみ・しまなみ」 の魅力を発信

5月31日(火)・6月1日(水)、台湾の旅行会社を対象とした現地での商談会を、島根県松江市・愛媛県今治市と合同で開催しました。

「中国やまなみ街道」「瀬戸内しまなみ海道」ルートを一体的にPRし、台湾での認知度を高めました。



今治市と連携して 日本遺産をPR

6月2日(木)今治市村上水軍博物館において村上海賊魅力発信推進協議会の設立総会が開催されました。日本遺産に認定された村上海賊の魅力を今治市と連携して国内外に発信していきます。



尾道市立美術館に 大きなねこがやってきました

6月25日(土)から尾道市立美術館で「岩合光昭写真展～ねこ～」が開催されています。美術館の入口に高さ2.7mの巨大ねこのオブジェが展示され、皆さんをお迎えしています。(8月14日(日)まで開催)

もくじ

3 [新本庁舎] 魅力スポットご紹介～ 屋上展望デッキ編～/カメラさんぽ

4 特集

“日本最大の海賊”の本拠地：
芸予諸島—よみがえる村上海賊
MurakamiKAIZOKUの記憶

6 くらしの窓

ひろしまクールシェア/原爆被爆者二世
の健康診断/野良犬による被害を防ぐ
ために/清掃/当番医 ほか

8 健康・福祉

国保・健診結果の提供に2,000円を助成
/後期高齢者医療の保険証更新/国民
年金保険料の免除・猶予制度/高齢者肺
炎球菌予防接種 ほか

11 子育て

ひとり親家庭の高卒認定試験へ給付金
/おのみちキッズフェスタ/夏休み
チャレンジ広場 ほか

13 スポーツ

市民水泳教室/硬式テニスキッズ練習会
/マリン・ユース・センターアリーナ半期
予約募集 ほか

15 芸術・文化

文化財愛護少年団学習会/夏休み子
ども囲碁大会/文化遺産パートナー養成
講座/平和映画鑑賞会/日本語ポラン
ティア研修会 ほか

18 情報アラカルト

市役所周辺の通行規制/県道栗原長江
線で水道工事/ふるさと産品提供事業
者募集/新婚世帯の新居費用等補助/
夏まつり/海辺の「おのバル」/夏休み
読書感想文講座/小中学生の夏休み課
題サポート/市有地売却 ほか

26 相談

28 協働通信シリーズ⑳

今月の表紙



6月26日(日)、因島アメニティ公園で行われた島まつり。甲冑を身に付けて、村上水軍に扮した約50人が先人に感謝し、8月に行われる火まつり・海まつりの成功に向け出陣の勝どきをあげました。

【新本庁舎】魅力スポットご紹介 ～屋上展望デッキ編～

22世紀の子どもたちに誇れる
公共空間づくりを目指して

新しい本庁舎は、市民の皆さんが集い、楽しんでいただける場所にすることを目指し、魅力ある空間づくりや設備の導入を進めていきます。その詳細を順次ご紹介します。

<屋上展望デッキ>

屋上の外周をぐるりと回っていただける2～5mのデッキスペースや、屋上の西側に約500㎡の広場を設け、皆さんの憩いの場として、また、尾道水道や尾道三山を望む絶好の眺望・観光スポットとしてご利用いただける気持ちのよい空間づくりを目指しています。

客船のデッキのような印象の、尾道らしさを盛り込んだ構造とすることで、訪れた人が「尾道水道に浮かぶ客船のデッキに立つ」感覚になっていただけたらと考えています。



(現時点のイメージであり、計画の進捗により変更する場合があります。イメージの無断転載を禁止します。)

☎総務課(0848-38-9334)



みんなで海をきれいに

6月12日、美しい瀬戸内海を守るための清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」を向島の大町・立花海岸で実施しました。身近な海を守るため、ボランティア約200人が清掃に参加しました。



元気よくスタート！ ランニングバイク選手権inいのしま2016

地面を蹴って進むペダルのない自転車「ランニングバイク」の大会が6月26日、因島アムニティ公園で開催され、2～6歳の約200人のちびっ子ライダーが元気よく駆け回りました。



三体廻し

6月25日、久保八坂神社の例祭、祇園祭がありました。

一番の見どころ、三体の神輿が勢いよく回る「三体廻し」では、威勢のいい掛け声と熱気で、沿道を歩く観客を圧倒していました。



芙美子を偲んで

6月26日、林芙美子の命日(6月28日)にちなんで「あじさいき」が開催されました。

林芙美子像の前で土堂小学校・尾道東高校の児童生徒による合唱や朗読のほか、着物姿で芙美子に扮した「一日芙美子さん」が行事に華を添えました。

“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島
—よみがえる村上海賊

Murakami KAIZOKU の記憶—

尾道市と今治市が共同で申請していた「日本最大の海賊」の本拠地：芸予諸島—よみがえる村上海賊“Murakami KAIZOKU”の記憶—が新たに日本遺産に認定されました。

日本遺産とは、平成27年度に創設され、文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを発信する制度です。

今回は全国から67件の申請があり、19件認定を受け、尾道市としては「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭の都市」に続き、全国で唯一の2年連続の認定となります。

文化振興課(☎0848-20-7492)



日本遺産



認定ストーリー

戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“Murakami KAIZOKU”。理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」(パイレーツ)とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。

その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海城」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

日本遺産の構成文化財は、尾道市・今治市で42件あります。ここでは尾道市内の代表的な構成文化財をご紹介します。

村上海賊が活躍した南北朝時代～戦国時代にかけて、当時の記録に「水軍」ではなく、「海賊」もしくは「関」と記載されていて、海賊=関という意味合いをもっていました。「備後海賊村上申者」に船を警固させるよう推薦していた当時の記録もあり、必ずしも現代のような海賊の悪いイメージで用いられていなかったと考えられます。

村上海賊は、海上交通の管理者として、水先案内や警固に従事し、海運業にも進出し、瀬戸内海や外国との物流、交易を行っていた時期もあります。さらには、日常は漁業や農業に従事し、戦時には備後守護や毛利氏、小早川氏などの戦国武将の水軍として、日本の歴史に名を残す活躍をしていました。

海とともに生きた村上海賊の痕跡(城跡・美術品・伝統文化・多島海など)は、芸予諸島に数多く残っており、それらをめぐること、村上海賊が生きた時代を体感できるというコンセプトになっています。



文化振興課学芸員 西井 亨

Japan Heritage 1

青陰城跡(広島県史跡)

この城は海城ではなく山城であり長崎城・青木城などの連絡場所であった。因島村上氏が戦国大名の性格をもつと、本城の役割を果たすようになった。因島のほぼ中央部、風呂山と龍王山に挟まれた青影山頂にあり、三庄方面を除く島のほぼ全域および周辺海域が見渡せる場所に位置している。山頂には、平坦な郭跡や堀切が残されていて、村上海賊の本拠地の様子をうかがうことができる。山麓からの登山道も整備され、また、棕浦の奥山からは、ハイキングコースも設置されており、山歩きを楽しむこともできる。



Japan Heritage 2

白滝山(五百羅漢像)(尾道市名勝)

白滝山は因島村上氏当主の村上吉充が青木城を築いたとき、この山を控える要害として設定し観音堂を造営した。その後、江戸時代後期に柏原伝六は観音道一観と称し大石仏三尊像や、五百羅漢の石仏工事に着手した。一体ずつ顔が異なる石仏は700体ほどあり、松林と岩石の自然に溶け込んで独特の雰囲気を出している。村上海賊の時代から因島一帯を見渡せる神聖な場所として、多くの信仰を集めている。



Japan Heritage 3

因島村上家伝来資料群

因島水軍城で保管・展示している因島村上氏に関する資料群である。広島県重要文化財白紫緋糸段絨腹巻、尾道市重要文化財紙本著色村上新蔵人吉充像、広島県重要文化財紙本墨書因島村上家文書などがある。白紫緋糸段絨腹巻は、肖像画の村上吉充が小早川隆景より拝領したと伝わるもので、因島村上氏と小早川氏の関係をうかがわせる貴重な資料である。また、村上家文書には、足利將軍家や備後守護らからの書状も多くあり、室町時代の因島村上氏の活発な動向をうかがうことができる。



Japan Heritage 4

地蔵鼻(鼻の地蔵)、美可崎城跡(ともに尾道市史跡)

美可崎城跡は、備後灘や弓削瀬戸を望む半島の先端部に位置し、古代から海の関所が置かれていたと伝えられる。室町時代は、因島村上氏が金山氏を奉行として置き、備後灘に行く船から運航税を徴収していたようである。頂上部の主郭の北東に二の郭を構え、周辺は急斜面により、海に面している。岬の南側にある入江が「舟隠し」ともいわれる。半島の先端には、金山氏にまつわる伝説を持った地蔵石(鼻の地蔵)が地域の信仰をあつめている。



第1回目の講座は約110人が参加し、「尾道市の石造物と石工」をテーマに、市内の鳥居・狛犬などの歴史を解説・紹介がありました。

「もっと!」
尾道の文化財を勉強したい人は文化遺産パートナー養成講座
日本遺産のガイドや調査する人材を養成する講座を昨年度に引き続き、今年度も実施します。8月から市内各所で日本遺産に関する講演会やワークショップ、日本遺産めぐりなどを開催します。詳しくは17頁をご覧ください。